

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月14日				
社会福祉法人慧誠会 遊学館「つ・な・ぐー」						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容に合わせて、様々な場所の活用を考えながら活動しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		皆さんに理解して頂けるよう、具体的な説明をしてきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	活動内容によって、使用する部屋を分けたり、時間によって交代する流れを作っています。	引き続き、特性に応じた配慮をしながら、伝達していくよう努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	児童の状況や様子に応じて、個別の部屋や空間を使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		業務改善の取組や、時間の確保等、改善に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者の方との日々の懇談や、ニーズ票等を活用して、意向等を把握するように努めています。	評価表以外からのニーズを把握できるよう、引き続き心がけていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員会議等の機会以外に、日々の相談等の時間を通じて、意見等を把握しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		法人内の職員から客観的な意見を頂き、改善に努めるよう努力していきたいと思っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	集合型研修の他、リモートスタイルの研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		支援プログラムについては、今後も必要に応じて見直していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者の方、児童からの話、関係機関（小学校等）からもお話を聞かせて頂き、子ども一人一人に合わせた支援の方向性を考えています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		引き続き、直接支援に携わる職員間で、共通理解が図れるよう、努めていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		個別支援計画の内容については、職員間でより共有できるよう、努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		日頃の行動観察の他、客観的な検査結果等を通じて、子どもの状態を把握するよう、引き続き努めています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		支援目標や支援内容を適切に組み立てる為に、ニーズの把握は勿論、正確に見立て、具体的な支援内容を実行できるよう研鑽に努めています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	児童の様子やその時の状況に応じて、集団・個別の療育を組み立てていきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		事前打合せは行っていますが、不十分さも見られる為、より具体的に打合せ、療育を展開できるよう心がけます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		その日の振り返りは、実施できていない面もあります。今後、クラス会議等の時間を通じて共有を図っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		記録はしていますが、支援の検証や改善に繋げていけるよう、必要な見直しをしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		定期的なモニタリングは実施していますが保護者の方との話から、状況に応じて見直していきたいと思います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	遊学祭といったイベントや、土曜日企画を通じて、地域の方との交流や、違うクラスの子達との交流を図っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	意図的に複数の活動やプログラムを提示し、その中から選択し決定する機会を設定しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		今後、必要に応じて積極的に参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		相談支援事業所や小学校、行政機関等と、引き続き連携した支援を行うよう努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	保護者の方からお話を伺う他、直接、学校と情報共有する機会を持っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		地域の他の子どもと活動したり交流する機会が少ない為、今後、具体的な活動方法を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		引き続き、保護者の方とお話を密にしなが、より共通理解が図れるよう努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		ご家族に対する支援プログラムの他、ご家族同士が交流できる機会を作れるよう検討していきます。
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		報酬改定の内容については周知していますが、具体的かつ丁寧な説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		保護者からの相談内容に対して、適宜必要な情報を提供しながら、お子さんの発達の様子を把握していく事に努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		今後、保護者同士で交流できる機会について検討し、実施できるよう努めていきます。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		苦情・ご意見等を聞かせて頂きながら、適切かつ早急な対応を心掛けていきます。 トラブル等があった場合は、必要な情報を保護者の方と共有していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	必要時に、紙面による発信やホームページ等を活用して情報発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報を含め重要書類の取り扱いには、十分に留意していきます。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		子どもたちや保護者の方の想いを確認し把握できるよう、配慮していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		行事を通じて地域の方々にも参加して頂いたり、町内会の行事にも参加しています。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	必要なマニュアルの策定や訓練等については適宜実施しています。	今後、保護者にはマニュアル等が周知されるよう努めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	地震や火災等が発生した想定で訓練を実施しています。	BCPについては既に策定済みなので、今後必要な訓練を実施するよう努めていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3		今後、安全管理に必要な研修や訓練等の機会を作り、全体に周知していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		